

古代出雲へのいざないへようこそ

島根県立古代出雲博物館は、島根県の歴史、特に出雲の歴史に関する豊富な資料を保存・展示しています。「神々の国」と呼ばれる出雲は、現在の島根県を構成する 3 つの旧国のうちの 1 つです。出雲は、日本の初期に書かれた年代記にも登場しており、日本の神話や初期の政治史において重要な意味を持っています。

3 つのテーマ展示では、古代出雲の精神的な伝統や文化を紹介しています。これらのうちの 1 つは、博物館のすぐ西に位置する出雲大社をテーマにしたものです。そのほかにも、古代の日常生活の様子や、この地域の先史時代の遺跡から出土した膨大な量の銅剣や銅鐸を展示しています。また、博物館の神話シアターでは、出雲を舞台にした神話を紹介する 4 本の短編フィルムを上映しています。一般展示では、島根県の歴史と文化を先史時代から現代まで紹介しています。

2007 年に設立されたこの博物館は、国際的に著名な建築家である槇文彦氏が、地元の歴史的要素を取り入れて設計したものです。例えば、博物館の鉄の壁は、島根県がたたら製鉄の町であったことを表しています。

メインエントランスに続く桂の並木道の長さは約 109 メートルで、かつて出雲大社の本殿に続いていた階段の長さを反映したものです。

島根県と古代出雲の世界に足を踏み入れてみましょう！